

別記様式第1号の7 (第33条の18関係)

工事整備対象設備等着工届出書

(1) 年 月 日								
(2) 消防署長 殿								
(3) 届出者								
住所 _____								
氏名 _____								
工事の場所		(4)						
工事を行う防火対象物の名称		(5)						
工事整備対象設備等の種類		(6)						
工事の工事施工者 整備対象設備	住所		(7)		電話 ( )			
	氏名 〔法人の場合は名称 及び代表者氏名〕		(8)					
消防設備士	免状の 種類及び指定区分 (9)	種類等	交知	付事	交付年月日	講習受講状況		
		甲・種類	都道府県	年 月 日	交付番号	受講地	受講年月	
		乙	都道府県	第 号	都道府県	年 月		
工事の種別 (10)		1 新設	2 増設	3 移設	4 取替え			
5 改造		6 その他						
着工予定日			(11)		完成予定日		(12)	
受 付 欄*					経 過 欄*			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 工事の種別の欄は、該当する事項を○印で囲むこと。  
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

工事整備対象設備等着工届出書 記入要領

項 目	記 入 内 容
(1) 年月日	本届出書を提出する年月日を記入します。
(2) 宛先	本届出書を提出する消防署長を記入します。(気仙沼又は南三陸)
(3) 届出者	本届出者(工事を行う消防設備士)の住所、氏名を記入します。
(4) 工事の場所	工事を行う防火対象物の所在地を記入します。
(5) 工事を行う防火対象物の名称	工事を行う防火対象物の名称を記入します。(仮称の場合は、名称の前に仮称と付記します。)
(6) 工事整備対象設備等の種類	工事を行う消防用設備等の種類を記入します。
(7) 工事施工者住所	工事を行う者の住所、電話番号を記入します。(法人の場合は、法人の住所を記入します。)
(8) 工事施工者氏名	工事を行う者の氏名を記入します。(法人の場合は法人の名称、代表者の職、氏名を記入します。)
(9) 免状の種類及び指定区分	工事を行う消防設備士の免状の種類等、交付都道府県名、交付年月日、交付番号及び最新の講習受講状況(受講地、受講年月日)を記入します。
(10) 工事の種別	工事の種別について、該当するものを○で囲みます。
(11) 着工予定日	工事着工予定年月日を記入します。
(12) 完成予定日	工事完成予定年月日を記入します。